

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（2月分）

留学先大学：ナポリ東洋大学

<はじめに>

Ciao!本当は3月からの留学ですが、2月26日に出発してからいろいろなことがあったので、3月分がものすごい量になってしまうと思い、日数は少ないですが、2月分を作ることにしました。福井大学からナポリへの留学は初めてなので、ナポリでの生活や、留学生活などを皆さんにシェアできると嬉しいです！今回は私がナポリに到着するまでの準備などについて書いていこうと思います。

<出発前の準備について>

イタリアでは、3ヶ月以上滞在する場合、ビザが必要になるのですが、これが一番大変でした…。というのも予約した日に領事館に自分で出向かなければならず、必要書類をすべて持っていかなければいけないのですが、いろいろあって忘れ物…。ビザ申請の予約も1週間前に取ればいいや、という気分でしたのですが、1ヶ月先まで予約はいっぱい。出発3週間前に予約がやっと取れたので、忘れ物をして、行くのをやめることはできず、強行突破しました。(笑) 2月の大雪の中、お母さんに追いかけてきてもらう形でなんとか申請しました！10時半の受付に間に合わなかったのですが、日本にある領事館とはいえそこはイタリア、書類を提出するのに3時間半かかったので何も問題なかったです。そして、できあがったビザ（パスポートにシールで貼られている）を郵送で送ってもらうようにしたのですが、出発1週間前になっても待てども来ないので、連絡したら、まだ書類が足りていませんよとの事。パスポートがないことには出国すらできないので、とても焦りました。毎日速達で領事館に書類を送り、違うと言われの繰り返し。とにかく住居書類は早めに用意することをおすすめします。私は出発2日前にやっとビザを取得できました！（笑）これから行く人が私みたいにならないこと祈っています（笑）！

<出発当日>

当日小松空港に行くと、遅延して、19:55出発が2度の時間変更で、21:10に。羽田で、雪で届かなかった書類をもらうのに旅行会社に会うはずだった予定が崩れて、電話が何度もかかってきたり、日本のケータイの契約も切れないしで、ドタバ

タしながらの出発でした。友達が見送りに来てくれましたが、ただひたすら焦っていたので、感動のお別れもなく、5ヶ月間会えないのが後悔です(笑)。小松から羽田、パリ、ナポリとのりつぐ予定だったので、飛行機が遅れたことによって、ゆっくり免税店で買い物する予定が、羽田空港をただひたすらダッシュ。なぜかパリ行き



↑出発当日の荷物。この5キロのリュックを担いで空港ダッシュしました。(笑)



↑思いがけずシャンゼ通りへ。もっとおしゃれな服で行きたかった…。

が10分はやまっていたので、ギリギリのところまでパリ行きの飛行機に乗れました。予定より早くパリに着いたので、夜中の3時から、朝の9時の飛行機まで、お店が開いていない空港で待つのが本当に退屈でした(笑)6時間待ったのに、パリからナポリへの飛行機は雪のせいで欠航になり、急に1日パリに滞在することになり、パリを観光してきました。次の日も、飛行機が遅延

になりとっても焦りました。理由はクルーが遅れているからとのこと。もうナポリにつけるなら何時でもいいという気分でした(笑)

<ついにナポリへ>

パリに一泊ということもあり、日本を出発してから50時間かけて、ナポリにつくと、春に福大に留学に来ていたリタさんが待っていてくれました！到着日から自分の家に引っ越すまで、1週間くらいホームステイさせてもらいました。リタさんの家に着いてすぐ、ピザを食べに行きました。大きいピザを一人一枚食べることに、600円くらいでその量を食べられることにもすごく驚きました。



ナポリ東洋大学では、オリエンテーションがないため、すぐに授業が始まるはずだったので、授業が1日からスタートだったのですが、先生がインフルエンザになってしまい、時間ができたので、次の日から家を決めたり、書類を提出したりとすごく忙しい毎日でした。私は27日の到着を予定していましたが、手続きやいろいろすることがあったので、もう少し余裕を持っていくことをお勧めします。

<手続きに関して>

着いて8日以内に、イタリアでは滞在許可書を出さなければいけません。そこに

は、滞在先の住所、携帯の番号が必要なので、急いで家を探しました。これから住むことになる家は、スペイン人とスロバキア人のシェアハウスで、今からワクワクしています。次の報告書でもっと詳しく書こうと思います！

また、携帯も日本のものを使えないようにしていたので、契約しました。イタリアでは毎月 SIM カードを買わなければいけないみたいで、来月から一人で買えるかが不安です。

手続きは全てイタリア語で書かれていて、私はリタさんに手伝ってもらいました。また、店員さんが英語を話せることは少なく、契約内容がわからなくて大変でした。日本からイタリアに来るまでに、1人知り合いを作っておくことが大事だと思います。

<履修に関して>

もともとナポリ東洋大学では、英語開講科目があまりなく、3つの授業だけを取る予定でしたが、時間割がかぶっていたために、1つの授業とイタリア語コースを取ることに決めました。他の地域に留学した子と比べると時間が有りますが、その分、私は観光に興味があるので、ナポリにあるカタコンベで、観光ガイドをしている組織に参加してこようと思っています！

<次回は…>

3月分の月例報告書では、授業のことや、ナポリでの週末の過ごし方、ナポリについてもっと詳しく書こうと思っています。